

10月29日

木原副官房に「推薦状」

統一協会側、昨年の総選挙

衆院内閣委

塩川氏追及

木原誠（官房副長官）は28日の衆院内閣委員会で、統一協会（世界平和統一家庭連合）のタミー団体「世界和平連合」から昨年の総選挙時に「推薦状」を受け取っていたと明らかにしました。日本共産党的塩川鉄也議員への質問。

塩川氏は、統一協会と推薦状は交わしたかと質問。木原氏は過去4回の選舉での約1000通の推薦



答弁する木原誠（官房副長官）
長官）28日、衆院内閣委

状を調べ、「昨年の総選挙の際、世界平和連合からの推薦状を受領している」と認めました。同協会が国政選挙で自民党候補に署名を求めてきた「推薦確認書」について同氏は「交わした事実は確認されなかった」と述べました。

木原氏をめぐっては、統一協会のタミー団体「平和大使協議会」のメンバーが2016年夏に支援団体「誠世会」を設立しています。木原氏は「何人の方があそした団体に闘争している」ほか、7回程度講師として参加し、「ご支援、ご理解いただきたい」と

推薦状を受領していること

が確認された」と認めました。

塩川氏は、同協議会は統一協会へ賛同や、

推薦状も国民党の調査には含まれていないと指摘し、

判じ、重ねて調査、報告を

して明瞭になった「推

入会について調査・報告す

原氏は電話などで「他

るよう要求。「各議員が調

の組織の応援を受ける」と

はない」と否定しました。

塩川氏は「推薦確認書」

などでの政策への賛同や、

長官）、「説明責任が果た

されていない。岸田政権の

疑惑で明らかになった「推

査し説明責任を果たす」と批

議員への答弁。

塩川氏は、「説明責任を果たす」と批

